

Club BUSINESS FARMERS

『農業経営者』読者の会 会報

CONTENTS

第3回全国大会のご案内

開催テーマ／プログラム

受講料

参加申込書

Vol.28 2010年1月1日発行

■発行・編集／株農技術通信社『農業経営者』読者の会 事務局(担当:長谷川/高須)
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-18-25 康洋ビル9F TEL 03-3360-2697 FAX 03-3360-2698

『農業経営者』読者の会

第3回

全国大会

日程 2010年2月10日(水)～11日(木)

会場 晴海グランドホテル2F会議室
東京都中央区晴海3-8-1(都営大江戸線勝どき駅から徒歩7分)

テーマ：未来のための原点回帰

～増収、適地適作、開拓者精神～

我われが人間として生きること、社会、ビジネス…すべてに原点が存在します。その原点に立ち戻ることによって未来から逆算する今日を考える時に、多くのものが見えてきます。そもそも農業の原点とは、お天道様の恵みを最大限に利用して、持続性のある形で、より豊かな実りを得ていくことではないでしょうか。読者の会 全国大会では、

2008年「イノベーションが農場を変える」、2009年「日本農業のNEXT STAGE」に続く2010年のテーマとして「未来のための原点回帰」を提案します。そして、原点回帰するための3つのキーワード「増収」「適地適作」「開拓者精神」から、現代において農業農村が提供しうる商品・サービスとは何か、明らかにします。

初日キーワードは『増収』。日本の稲作経営では生産調整の影響もあって増収、およびそれによるコストダウン(増益)への意欲が低いのが現状。しかし増収増益は農業に限らず、あらゆる経営の王道です。稲作経営のありかたが変貌しようとする今、改めて増収の意味を考えます。また、品質と収量を両立させている読者からの実践報告も予定しています。2日目キーワードは、まず『適地適作』。高値を狙って旬でない時期に無理な条件で栽培する農業の裏返しとして、適地(適期)適作で食べる人のためのモノづくりを再考します。そして最後に『開拓者精神』。マーケットから逆算した農業経営を開拓している読者から、分野別に実践報告を予定しています。

(過去の全国大会にご参加下さった皆さまからの
嬉しいお声、裏面に紹介させていただいております。)

2/10(水)
10:00~18:00

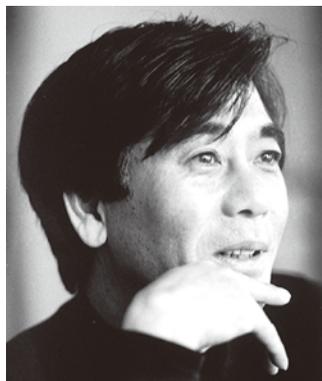
未来のための原点回帰 1

キーワード

『増収』

終了後、懇親会を開催(18:00~20:00)

基調講演



真の成功者とは～事業者としての夢、 その実現のために～

作家・元国際線乗務員 黒木安馬氏

高校時に米国留学後、早稲田大学を経てJAL国際線客室乗務員として30年勤務。現在、日本成功学会社長として自己啓発や社員教育で講演活動を行なう。実体験にもとづく人生成功哲学は定評がある。著書にベストセラー『出過ぎる杭は打ちにくい!』(サンマーク出版)のほか、『成「幸」学』(講談社)、『あなたの人格以上は売れない!』(プレジデント社)、『面白くなくちゃ人生じゃない!』(ロングセラーズ)、『リセット人生・再起動マニュアル』(ワニブックス)、『小説・球磨川』(上下巻・ワニブックス)などがある。本誌「21世紀だ!——人生・農業リセット再出発」の連載は110回を迎える。本講演では、事業者としていかに物事の本質を捉え、夢を実現していくか、成功者の発想法から解き明かしていく。

◎関連記事:月刊『農業経営者』00年1月号～連載「21世紀だ!——人生・農業リセット再出発」

2/11(木)
10:00~18:00

未来のための原点回帰 2

キーワード

『適地適作』 『開拓者精神』

基調講演



グローバルな適地適作で『農業は儲かる』

(農)和郷園代表 木内博一氏

1967年千葉県生まれ。農業者大学校卒業後、90年に就農。96年事業会社(有)和郷を、98年生産組合(農)和郷園を設立。生産・流通事業のほか、リサイクル事業や冷凍工場、カット・パッキングセンター、直営店舗の展開を進める。05年海外事業部を立ち上げ、タイでマンゴーとバナナの生産を開始。07年日本から香港への輸出事業スタート。起業わずか15年でグループ売上約50億円の農系企業を築き上げた“事業ビジョンの本質”を、現在本誌で「和のマネジメントと郷の精神」として連載中。「農業が儲からない」構造があれば、儲かる仕組みを自ら作ることを提案し、そのひとつの答えとしてグローバルな適地適作について解説する。

◎関連記事:月刊『農業経営者』08年12月号～連載「和のマネジメントと郷の精神」

講演＋パネルディスカッション (司会) 昆吉則氏 月刊『農業経営者』編集長

講演
1

パネリスト



村井信仁氏

農学博士・村井農場代表

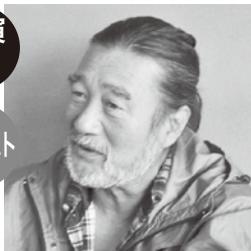
増収 ～なぜ西欧に比べ、
収量が減っているのか～

農学博士。1932年福島県生まれ。55年帯広畜産大学卒業。山田トンボ農機、北農機を経て、67年道立中央農業試験場農業機械科長、71年道立十勝農業試験場農業機械科長、85年道立中央農業試験場農業機械部長。89年北海道農業機械工業会専務理事。現場に即した機械開発と指導で農業経営者の厚い信頼を得ている。著書に「耕うん機械と土作りの研究」など。

●関連記事:月刊『農業経営者』93年5月号～98年4月号「耕すということ」

講演
2

パネリスト



平野廣明氏

平野農場代表

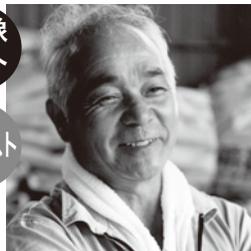
食味と収量を両立する
稲作技術

1989年エム・エス・ケー東急機械を退職後、新潟県で就農。経営面積は約22ha。独自ブランドの玄米と精米を県内の米店に出荷するほか、全国に直販している。反収12俵と良食味を両立させ1俵1万5000円で販売。稲の植物生理と水田土壌への理解を深めながら、自分の圃場のデータを取って検証し、オリジナル技術を創り上げていく方法論を解説頂く。

●関連記事:月刊『農業経営者』09年12月号 特集「増収こそ稲作経営の王道」

映像
紹介

パネリスト



勝部征矢氏

(農)勝部農場代表

麦単作40年の「土地管理型
農業」実践(仮)

170haの麦単作経営を行う勝部農場では、40年以上の連作を続けている。しかも平均反収約300kgの北海道栗山町で、07年産小麦の平均反収は613kg。適期作業を徹底し、常に作物の根圏を最適環境におく栽培を可能にするのは、自前の基盤整備や特注プラウによる超深耕など、徹底した土づくりの積み重ねだ。自ら標榜する「土地管理型農業」を解説して頂く。

●関連記事:月刊『農業経営者』99年1月号 農業経営者ルポ

パネリスト



荻原昌真氏

『Agrizm』編集長
全国農業青年クラブ連絡協議会会長
(有)信州ファーム荻原農場長
1979年長野県生まれ。大学卒業後、(有)信州ファーム荻原に入社、現在は農場長。経営面積は水稲40ha、小麦5ha、大豆12ha、ソバ3ha。オリジナルブランド米「やえはら舞」をはじめ、自家製パン・菓子等も販売する。08年から全国農業青年クラブ連絡協議会会長。09年新雑誌『Agrizm』を創刊、編集長。

●関連記事:月刊『農業経営者』08年6月号 新・農業経営者ルポ

講演＋パネルディスカッション (司会) 昆吉則氏 月刊『農業経営者』編集長

講演
3

パネリスト



岩瀬弥隆氏

(有)クリアライズ 代表取締役社長

マーケットから逆算する
農業経営 ～野菜版～

茨城白菜栽培組合の専務を経て、2001年(有)クリアライズを設立。外食中食など加工食品業者のニーズに応じた新種レタスを開発し、需要に応じた量を農家に生産委託・販売している。茨城・長野・山梨など約100軒の契約農家と提携、農産物の企画開発から販売まで手がける「食財」創造企業をコンセプトにしている。

●関連記事:月刊『農業経営者』10年2月号、新・農業経営者ルポ(予定)

講演
4

パネリスト



丸田 洋氏

(有)穂海 代表取締役社長

マーケットから逆算する
農業経営 ～コム版～

1974年新潟県生まれ。東北大学機械航空工学科卒業後、エンジニアとして発電機の開発に従事する。2005年に就農、新潟県上越市で(有)穂海を設立。就農当時から工程管理の必要性を感じて07年、日本で初めてJGAP団体認証(穀物)を取得。現在の経営規模は水田15ha、作業受託5ha。販売先は(株)ミツハシが8割を占める。

●関連記事:月刊『農業経営者』09年9月号 特集「GAP導入で農場は変わる」

講演
5

パネリスト



大塚智子氏

(有)秋田高原フード

マーケットから逆算する
農業経営 ～畜産版～

大学卒業後、商社勤務を経て父が創業した(有)秋田高原フードに就職。母である佐藤信子社長、夫、14人の従業員とともに比内地鶏の育成事業に従事。黎明舎の雛を150日間かけて育成し、HACCP手法を取り入れた食鳥処理により出荷販売している。女性が家業として農業を継いだこと、その困難と夢についても言及する。

●関連記事:月刊『農業経営者』08年8月号、新・農業経営者ルポ

◆過去の全国大会の様子



第1回全国大会・和郷園（農場視察）風景



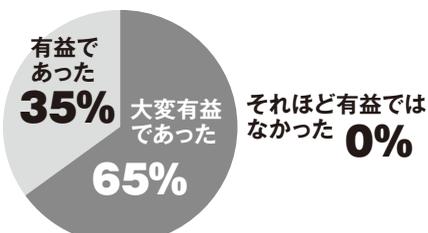
第2回全国大会・講演時参加者の熱い視線



第2回全国大会・懇親会風景

◆過去の全国大会参加者の声

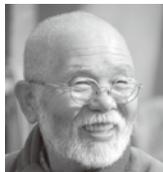
この全国大会は有益でしたか？



参加者アンケートより

- ・懇親会や休憩中、誌面に連載されている先生、農業経営者の方々と直接挨拶、意見交換ができた。
- ・パネルディスカッションは、パネラー以外からも様々な意見が出て参考になった。
- ・農業が農産物をつくるだけでなく、多くの役割があるという見解に同調した。
- ・当初は参加費用の額に二の足を踏んでいましたが、参加してみると、充分元が取れるくらい充実した内容であったと思います。

◆本誌執筆陣も参加します！



エコファーム・アサノ
脳業発想力
浅野悦男氏



北海道長沼発
ヒール宮井の憎まれ口通信
宮井能雅氏



幸せを見える化する
農業ビジネス
坂上隆氏



過剰の対策、欠乏の克服
関祐二氏



今月の数字
松田恭子氏

懇親会

●日程:全国大会初日/2月10日(水) 18:00~20:00 ●会場:全国大会同ホテル/晴海グランドホテル 1Fレストラン ぐる芽

●晴海グランドホテルまでのアクセス

東京駅から

- 八重洲口よりタクシーで15分(佃大橋経由)
- 丸の内南口よりバス「晴海埠頭行」10分(晴海3丁目下車)

有楽町駅から

- マリオン前よりタクシー約10分
- マリオン前よりバス「晴海埠頭行」で約15分(晴海3丁目下車)

銀座から

- 三越前よりタクシーで約5分
- 銀座4丁目よりバス「晴海埠頭行」で10分(晴海3丁目下車)

羽田空港から

- 羽田→(モノレール)→浜松町→(タクシー10分)→晴海グランドホテル



お問い合わせ先/「農業経営者」読者の会 事務局TEL:0120-555-184Mail:customer@farm-biz.co.jp(長谷川/高須)

第3回 全国大会 申込書

受講料（税込）

申込期限 **1月15日**

※参加を希望する日程にして下さい。

日程	定期購読者	一般参加者
2月10日(水) 10:00~18:00	<input type="checkbox"/> 15,000円	<input type="checkbox"/> 20,000円
2月11日(木) 10:00~18:00	<input type="checkbox"/> 15,000円	<input type="checkbox"/> 20,000円
2日間通して参加	<input type="checkbox"/> 30,000円	<input type="checkbox"/> 40,000円

※受講料には、参加料、テキスト代、当日の昼食弁当が含まれます。
 ※受講料には、2月10日の懇親会費(6,000円)は含まれません。
 ※定期購読者のお連れ様は、定期購読者の扱いでご参加できます。
 ※29歳以下の定期購読者、および4Hクラブ会員は各日10,000円(2日間通しは20,000円)で参加できる若手割引があります。

お申込み完了後、下記の振込先に受講料を入金してください。お振込確認後、1月25日以降に受講票を送付いたします。

お振込先(1月21日迄にお振込下さい)

金融機関：東京信用金庫高田馬場支店
 預金種目：普通 口座番号:2084585
 受取人：(株)農業技術通信社
 カ)ノウギョウギジュツツウシンシャ

注 振込手数料はご負担いただきますようお願い申し上げます。
 お振り込みになった受講料は、原則として返還できませんので、参加日、お申込人数、お申込金額をくれぐれもご確認くださいようお願い申し上げます。

定期購読申込 いずれかにして、必要事項をご記入下さい。

- 参加を機会に『農業経営者』定期購読を開始する。
- 半年間(6冊) **9,600円**
- 1年(12冊) **18,000円** **送料サービス**
- 2年(24冊) **33,000円** **お得な3000円割引**
- 3年(36冊) **45,000円** **お得な9000円割引**

※本誌セミナー(年間12回以上)参加料込(一般5,000円/回)
 ※本誌セミナー全音声ダウンロード(年間12回以上)込(一般視聴不可)
 ※定期購読代は、代引きにて一括支払いをお願い申し上げます

**第3回全国大会参加申込
 「農業経営者」定期購読申込**

お申込先 **FAX** 番号

0120-410-359

(『農業経営者』HP <http://www.farm-biz.co.jp/>からもお申込できます)

■第3回全国大会に(**参加する** / **詳しい説明が聞きたい**)※該当項目に○して下さい

会社名 農場名		
ご住所	〒	
TEL/FAX	TEL	FAX
ご参加者氏名 ※参加される方すべての氏名をご記入願います	<input type="checkbox"/> 若手割引の適用希望 (生年月日: 年 月 日)	
懇親会 ※該当項目に○して下さい	2/10(水)18:00~20:00 (参加 / 不参加)	※懇親会費(6,000円)は当日受付にてお支払い願います
宿泊手配 ※該当項目に○して下さい	希望する(宿泊日: 2/9 2/10 2/11) / 希望しない	
E-mail	<input type="checkbox"/> 持っていない	